

2020年1月23日

令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（アンティグア）  
ギルバート農業・地方開発センターホスピタリティ訓練施設建設計画に関する署名式

2020年1月23日、セントピーター教区マーサーズクリークに所在するギルバート農業・地方開発センター（GARD センター）の農業遺産自然センターで、令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力である GARD センターホスピタリティ訓練施設建設計画の署名式が行われました。GARD センターは、日本政府の供与額 89,629 米ドルの無償資金を利用し、観光産業に特化した職業訓練施設を新たに建設し、2012 年、2016 年度に同無償資金協力を利用して建設された他 2 施設と合わせて、同国の教育機会の向上を図り、雇用改善に貢献することが期待されます。

本式典では、ロドニー・ウィリアムス総督ご出席の下、平山達夫アンティグア・バーブーダ日本国大使及びジューン・ジャクソン専務理事が贈与契約に署名しました。また、式典には、マックスウェル・フランシス駐日大使（本国駐在）、ジョナ・グリーン教育局次長他も出席しました。

平山大使は挨拶の中で、経済成長する中、恵まれない境遇にある人々も裨益する包括的な社会づくりが重要であり、本案件は、そういった若年層の能力強化につながる。観光は当国にとり重要な産業であり、生徒が温かいおもてなしの精神を学ぶことを期待すると述べました。

アンティグア側からの出席者からは、日本がこのセンターに3度目となる支援を行ってくれることは非常に嬉しい。人材育成は地域社会により重要である。教育分野だけでなく、日本は長年に渡り水産分野での協力を続けるパートナーであることに感謝するとの謝辞がありました。

署名後、施設建設予定地での起工式が行われました。

日本政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でアンティグア・バーブーダに対する支援を実施していく考えです。

お問い合わせ  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班  
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222  
E-mail: [ecocoop@po.mofa.go.jp](mailto:ecocoop@po.mofa.go.jp)





平山達夫大使によるスピーチ



平山大使とジャクソン専務理事が署名する様子



平山大使とジャクソン専務理事が署名後に握手をする様子



式典出席者の方々



鍬入れの様子

左—右

カースリー・マギンレーGARDセンター役員、ロドニー・ウィリアムス総督、平山達夫大使、マックスウェル・フランシス非常駐大使、ジューン・ジャクソンGARDセンター専務理事

お問い合わせ

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222

E-mail: [ecocoop@po.mofa.go.jp](mailto:ecocoop@po.mofa.go.jp)

経済・開発協力班

